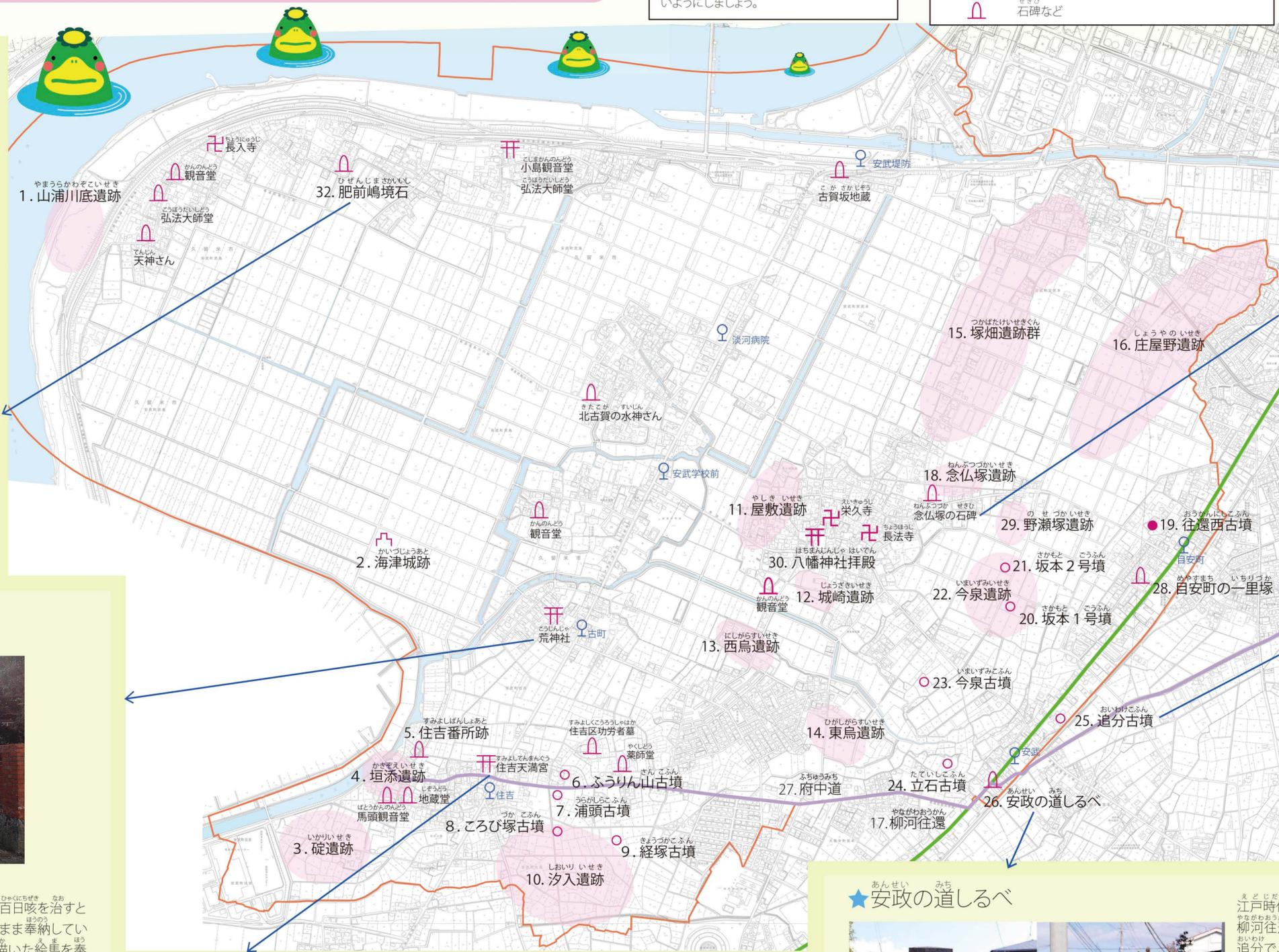


# 安武校区の文化財マップ

＜お願い＞  
文化財の中には、私有地内にあるものがあります。見学する際には無断で敷地内に立ち入らないようにしましょう。

凡例	
	主な遺跡の範囲
	古墳
	失われた古墳
	城跡
	せきび 石碑など
	神社
	寺院
	バス停
	校区の範囲



## ★肥前嶋境石

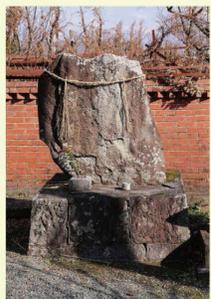


肥前国(現在の佐賀県・長崎県)と筑後国境界を示すための石碑です。肥前と筑後の境界は、筑後川の中心線によって決定していましたが、以前は今よりも筑後川が南を流れていたため、このあたり一帯は、肥前領となっていました。その後、河川工事によって石碑は取り払われ、石碑の場所も筑後川の南岸から現在の位置へと移動しました。

## ★古町の荒神社



古町は、海津城の城下町でした。荒神社は古町の鎮守社です。ここでは素戔嗚命・蛇毒神・大己貴神を祀っており、ひきつけや百日咳を治すと信じられています。これらの病気が治ったら、生きた鶏をそのまま奉納していたため、以前は、鶏小屋があったそうですが、次第に鶏の絵を描いた絵馬を奉納するようになったそうです。



▲文明年間古碑



▲天神石祠

また、荒神社の境内には、弘法大師堂や観音堂のお堂の他に、文明年間古碑や薬師石祠、天神石祠があります。文明年間は、1469年から1486年の17年間で、石の表面に、地藏菩薩像が確認できます。江戸時代の国学者である矢野一貞によると、この荒神社の天神石祠は海津城主だった安武氏を祀るものではないかということです。

## ★住吉天満宮



かわいい  
こまいぬ うし  
狛犬や牛がいるよ!  
かみ  
探してみてください!

天満宮の境内には、風浪神社・八百万神社・小鳥神社・原田神社があります。風浪神社は少童神を祀っています。少童神は海洋を主宰する神であり、海上鎮護の神です。

## ★安政の道しるべ



江戸時代、筑後国主田中吉政によって柳河と久留米を結ぶ柳河往還が作られました。この往還の途中である安武町追分で、薩摩坊津街道に合流する府中道を分岐させました。その分岐点に建てられたのが、安政の道しるべです。この道しるべは、安政4年(1857)に、吉山東兵衛英義によって建てられました。石碑には、二面にわたって文字が書かれています。

左  
くるめ  
右  
高良山  
ひたくり

現在の道しるべは、復元されたものです。

## ★追分古墳の碑



追分古墳は、昭和14年(1939)に地元の人々によって発掘され、中から人骨や玉、金属製品などが発見されました。この碑は、昭和55年(1980)に古墳の石室の石を利用して建てられました。

## ★念仏塚の石碑



長法寺の尼僧(女性の僧)が念仏を唱えて亡くなった塚であるという伝承があります。念仏塚の名前の由来となりました。